

第 73 号

編集・発行
白山高等学校PTA

印刷
伊藤印刷株式会社

2022. 3

御 礼



PTA会長 森山 幸子

日頃より、PTA活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

今年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響により、緊急事態宣言が発令されるなど学校生活の制限を余儀なくされました。

特に、文化祭の炊き出しは皆様の親睦を深める唯一のPTA活動でしたが二年続けての見送りとなりました。

一方で、ワクチン接種の普及などから徐々に日常生活も広がり、延期されていた二年生・三年生の修学旅行も十二月に無事、実施できました。

昨今、オミクロン株が世界の各国で猛威を振るい、日本での感染状況も心配ではありますが、求年度こそ皆さんの笑顔の絶えない学校行事が執り行われることを願っています。

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。
四月から新天地で新しい生活をス

あろう旅立ちのために、更に沢山の経験を積み重ね充実した高校生活を謳歌してください。

PTA会員の皆様においては、子どもたちの実りある成長や夢ある未来の実現のために、PTA活動の更なる充実にご尽力賜りますようお願い申し上げます。

ターゲットさせる事に期待と不安を抱いている人も少なくないと思います。環境の変化は常に人に適応という成長をもたらしてくれます。皆さんが白山高校で学び、様々な経験で身に付けたことを糧にすれば、どんな苦難が待っていても豊かな人生が切り開けるはずです。

最後にりましたが、PTA会長として挨拶はおろか皆様の前に顔を出すこと無く任務を終えることをお詫び申し上げます。白山高校PTA活動において、多くの方々にお力添えを頂き、厚く御礼申し上げます。今後の皆様のご健康とご多幸をお祈り致しまして挨拶とさせていただきます。

御 挨拶



校長 堀 昌弘

日頃より本校の教育活動及びPTA活動の充実・発展にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本日三月一日に卒業式を迎える生徒の保護者の皆様には、これまでのお子様へのご指導・ご支援に対して敬意を表しますとともに、心からお

慶び申し上げます。

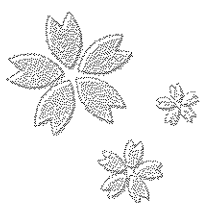
さて、卒業生が一年生であった二〇二〇年三月の臨時休業から新型コロナウイルス拡散防止の取組が始まりました。自宅でのインターネットを用いたりモートによるSHRや遠隔授業など、これまでにない経験でした。また、学校再開後も地域と協働した教育活動においても、例年実施している地域企業でのインターンシップや地域行事への参加などは感染予防から実施することが叶いませんでした。体育祭、文化祭をはじめとする多くの学校行事は日程や内容が変更や延期になり、保護者の皆様には大変なご心配をおかけいたしました。特に、卒業生の修学旅行は一年遅れで行き先を変更して三年生の十二月実施でした。

しかし、多くの生徒はそのような環境においても元気に教育活動に取り組む様子が見られ、校長として嬉しい思いでいっぱいです。特にマナーを守りながらもクラスの団結を示してくれた体育祭と文化祭、卒業生が二年生の時にインターンシップに代えて実施した生徒による地域プロデュース「白山高校が地域を盛り上げます！」などは、これからの白山高校生徒の可能性を感じさせてくれるものでした。

これからの変化の激しい時代においては、自身の良さと可能性を認識し、失敗を恐れず挑戦し、他者との協働を通して困難な課題を乗り越えていくことが求められます。これらの経験はそのための確かな力になると確信いたします。

卒業生には今後、その力を発揮して、自己実現を果たすとともに、社会に貢献し、地域を活性化させる担い手の一人になってくれることを期待します。在校生もその姿を追ってくれるようお願いいたします。

卒業生の保護者の皆様におかれましては、今後ともお子様の成長を温かく見守り続けていただきますとともに、本校の教育活動に引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。お祝いの言葉といたします。



地域課題解決型キャリア教育

(PBL)プロジェクト

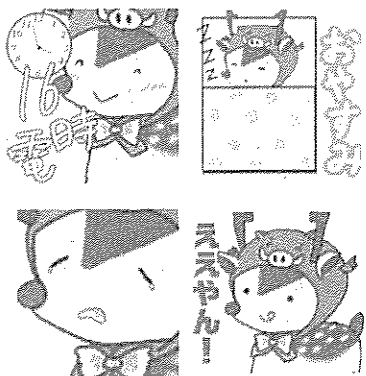
本校は、高等学校として津市で唯一のコミュニティスクールで、「地域を愛する若者を育成し、地域の活性化に貢献する学校」を「目指す学校像」として掲げています。社会に貢献し、地域を活性化させる担い手の一人になってくれることを願い、地域と連携しながらさまざまな教育活動を推進してきました。

昨年度より三重県の事業である「地域課題解決型キャリア教育(PBL)」の指定を受けています。通称PBLと呼ばれていますが、PBLとはProblem Based Learningの略称で、現実的な問題解決やプロジェクト達成を通して学びを深める学習法のことを表します。講義形式だけでなく、学んだ知識やスキルを使って小グループ(四、五名)でのプロジェクト活動を中心に進めています。グループで地域の課題やその解決方法などについて意見共有することで、多様な視点に触れることができるとともに、共通の目標に向かって協力することができるようこのPBLによる活動目的の一つです。

本校は以前から、キャリア教育に取り組むなかでインターンシップを実施してきましたが、昨年度より新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見合わせざるを得ませんでした。そのような中でもキャリア教育のさらなる充実につなげるために、地域に学んだインターンシップに代わり、地域を学ぶために地域課題解決型学習(PBL)を取り入れました。昨年度に引き続き全体のテーマを「白山高生が地域を盛り上げます！」とし、高校生の方で地域を元気にする探究活動に取り組みました。

二年生

二年生は今年度からはじまった「総合的な探究の時間」の中で、地域課題解決型学習に取り組んできました。地域について学び、地域の各分野に精通する人々との協働活動とおして、自分たちができることを考え実践してきました。今後の目的は、

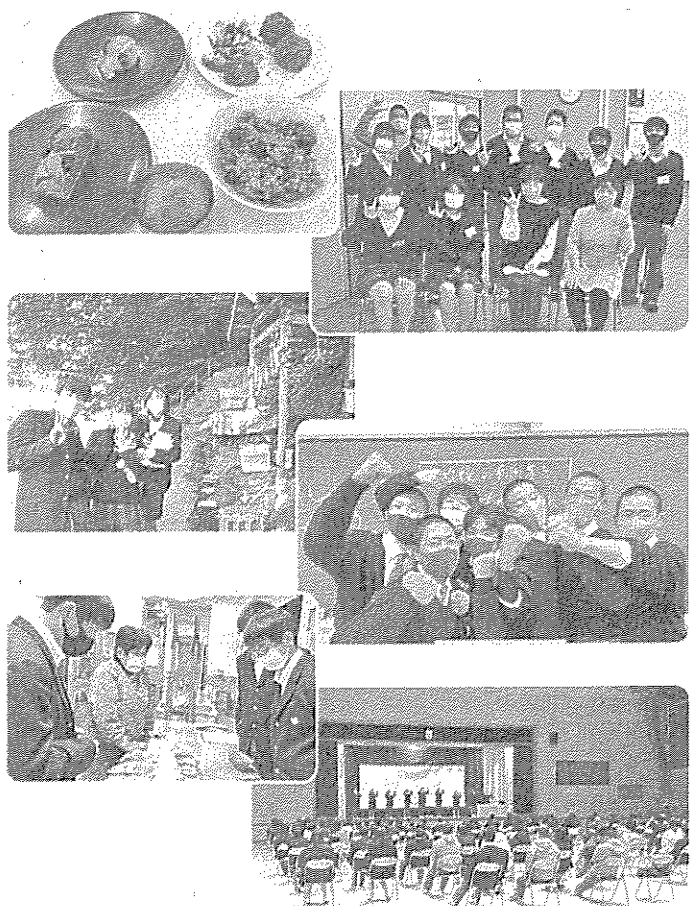


三年生

「名松線勝手に応援団」による取組

昨年の十一月、浜松学芸高校(静岡県浜松市)と協働プロジェクトを実施。「名松線勝手に応援団」が立ち上がりました。完成した十二枚のポスターは、津市や松阪市内のJR駅、県や市の行政施設、商業施設などに展示していただき大きな反響がありました。

今年度も三年生の新メンバー七人で、ポスター制作活動を継続してきました。今年の新たな取組として、この地域にある川口小学校、そして高田短期大学と協働でポスター制作を行う等、私たちの活動の幅を広げました。



自分たちが発見した地域の魅力を外部に発信していくことです。今年度は次の六コースの分野に分かれて活動を積み重ねてきましたので紹介します。

A ヒト・モノ・シゴトコース

地域の方々との出会いを通じて学びを深め、白山町の「ヒト・モノ・シゴト」について調べ、どのような課題があるかを考え高校生としてできることを実践してきました。

B 福祉コース

聴覚障害についての理解を深めていきたいという思いから、講師を招

いて手話を教わりました。手話ツールとして、地域で暮らす障害者との会話につなげていきたいです。

C 農業コース

白山・美杉地域の素敵な物を探したところ、白山の黒豆と美杉茶について調べたいと思いました。これらの産物を地域へ広めていきたいです。

D ゆるキャラコース

白山高校のマスコットキャラクター「しかずきくん」を多くのの人に知ってもらうため、「しかずきくん」のLINEスタンプを作成しました。

E 観光コース

白山地域の観光資源をPRするために、様々な場所へ取材に行きました。白山にはたくさん魅力的な場所があることを発見できました。

F 討論コース

社会で活躍できる人間になることを目標として討論や話し合い活動をしてきました。

二年目の今年、全部で二十四種類のポスターを完成させることができました。ポスターと併せてポスターを紹介することを目的としたリーフレット「白山高生が名松線を盛り上げます」第二弾を配布予定です。また作成したポスターの画像は本校のホームページでも公開中です。

私たちが活動するなかで見つけた名松線の溶け込む風景。その風景を背景に等身大の高校生の姿を重ね合わせ、高校生らしさあふれるキャッチコピーを添えました。ポスターを通じてこの地域の魅力が伝わることを願って作品づくりに励みました。



3年ぶり

ご卒業おめでとうございます。様々な思いを胸に入學した三年前、早いものでもう卒業となりました。一年生の後半から今回の卒業式まで、新型コロナウイルス感染症の影響から、これまでにない学校生活を送ってきました。そんな波乱万丈の三年間だからこそ、今振り返ると懐かしさ、今に至る喜びも一入ではないでしょうか。

白山高校では、学業において学びを深めるだけでなく、学び直しや資格取得に向けて努力をしたり、学校行事である体育祭や文化祭ではクラス単位や有志で協力をしました。また、部活動では自分自身と向き合いながら自己実現のために汗をかくなど、皆がそれぞれに努力を重ねた三年間だったと思います。

そんな中、ともに努力する仲間は大切であり、その人間関係に悩んだこともあったのではないのでしょうか。多感な時期を過ごす生徒たちにとって、友人の言葉一つ、仕草一つが大きな悩みとなることもあったと思います。保護者の方々にもご心配をおかけしたかと思えます。しかし、友人と会話を重ね、ご家庭で励まして

いただき、一つ一つ困難を乗り越えたい。力を生徒たちは身に付けてくれたと思えます。

最初は教員との距離感をつかめず、自分を上手に表現できない生徒もいました。三年という歳月の中で、少しずつ成長を重ね、日々の授業をはじめ、クラブ活動や学校行事を通して、生き生きとした姿を見せてくれるようになりました。

白山高校に入學してよかったと思う瞬間がこの三年間の中にあつたらば何よりです。

生徒たちはこれから本校を旅立ち、新たな世界で活躍していくことになりました。決して平坦な道ではありませんが、本校で過ごした三年間が助力になることを祈っています。

最後になりますが、改めて保護者の皆さまにはこの三年間、ご支援、ご協力いただき本当にありがとうございます。

生徒会より

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。本年度は新型コロナウイルス感染症予防対策による制約を受けながらも様々

な生徒会活動を行ってきました。四月に新入生との対面式、五月に高校総体の壮行会、六月に体育祭、七月にクラスマッチと野球応援、十一月に文化祭を実施することができました。特に文化祭は九月が休校となったため、例年よりも準備開始が遅くなつてしまいました。それにも関わらず、三年生を筆頭に、生徒の皆さんの頑張りのおかげで無事成功することができました。

文化祭企画として、飲食店は今年度も実施を見送らざるを得ませんでした。しかし、舞台発表や展示・装飾部門において、各クラス・クラブ、有志の皆さんが創意工夫を凝らした作品を発表し、大いに盛り上げてくださいました。今年度は、展示・装飾部門も体育館内の壁面や空間を使った発表としたことで、例年よりも全校生徒に見てもらえたのではないかと思います。その中でも文化祭大賞を受賞した三年三組による「ベクトル」は、クラス全員が一致団結した努力の成果が感じられる力作でした。午後からは体育館にて映画鑑賞を行い、「コロナ様式」の文化祭を終えることができました。

二学期のクラスマッチは、延期になつていた二年生と三年生の修学旅

行と重なつたため中止となりましたが、三学期には実施予定です。

生徒会活動としては、生徒会役員と生徒会顧問で毎朝通学路のゴミ拾い、名松線の清掃、校門での挨拶運動を引き続き実施しています。また、中学生対象の「高校生活入門講座」での学校紹介や、三重県教育委員会主催「高校生地域創造サミット」では学校を代表して参加する活動も行ってきました。

新型コロナウイルスに振り回される日々ですが、生徒会として出来ることに最大限に取り組み、生徒の皆さんに少しでも充実した高校生活を送ってもらえるように努力していきたいと思つています。

今後とも、保護者の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いたします。

国語科より

本校では独自の「校内漢字検定」を設け、年間六回の受検を全員に課しています。九級からスタートし、三年間で少なくとも六級まで昇級（二回の合格で一ランク昇級します）できるように取り組んでいます。

今年度からは出題範囲を少し絞り、「頑張れば得点が伸びる」形にリ



ニューアルしています。その結果、例年よりも多くの合格者を出すことができ、生徒の勉強意欲の向上にもつながっていると考えています。

十一月十八日には「第八回高校生ビブリオバトル三重県予選会二〇二一」がリモート開催されました。「ビブリオバトル」とは、発表者が読んで面白く感じた本の書評を発表し、会場の人が「どの本が一番読みたくなったか」を競うイベントです。本校からバトラー（発表者）として出場した三年二組の嶋村歩実さんもお気に入りの本「コーヒーが冷めないうちに」を五分間の持ち時間いっぱいに紹介し、他校生徒からも

賛同を得ていました。

さらに「第六十七回青少年読書感想文三重県コンクール」においては、三年生の水谷愛琉さんと嶋村歩実さんの二人が中勢地区審査会で入選することができました。

生徒たちの基礎学力や感性をさらに伸ばせるよう、今後とも国語科として様々な場面で支えていきたいと考えています。

野球部より

卒業生、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

今年の卒業生の皆さんは、最も人数の多いチームで過ごした学年でした。新チームでの秋季県大会では準決勝まで勝ち進みましたが、松阪商業高校に悔しい敗退。三位決定戦では海星高校に敗退し秋季県大会四位入賞の結果を残しました。一つの目標としていた東海大会目前の敗退は入賞したという嬉しさ以上に、自分たちのミスからの失点により優勝を逃した悔しさが深く残りました。

その後、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、苦しい秋を過ごしました。そのような状況の中で、十一月の横浜遠征は貴重

な経験となりました。それぞれの課題を克服するため冬の練習に取組み、春には中勢地区予選で津商業高校を倒し、一次代表として県大会に出場しました。苦しみながらもぎとつた地区予選優勝は、とても感動的でした。春季県大会三回戦、津田学園との試合は粘つたものの6-9で敗退し、ベスト8の結果でした。「もう一度、甲子園出場を果たし、初勝利を！」を目標に、個々の取り組み姿勢を見直し、チームの課題、守備のミスをなくすこと、や、打線をつなぐこと」に対する意識を高め練習に励みました。

そして迎えた三年生最後の夏、第一〇三回選手権大会三重県大会。スタンドには多くの保護者の方々や友達、学校関係者が応援に駆けつけ声援を送ってくれました。一回戦は朝明高校と対戦。中盤に逆転されましたがすぐ同点に追いつき、3-4で九回サヨナラ勝ちという劇的なスタートとなりました。二回戦では桑名工業高校に4-0で勝利。三回戦では三重高校に5-8で敗退しましたが、守備のミスもなく攻撃でも粘りを見せることができ、これまでの集大成として自分たちが納得できる試合ができました。今がまさに、「人生のプレーボール」です。白山高校グラウンドでの経験を糧に、高校での多くの出会い

を大切に、次のステージに大きく羽ばたいてください。

最後に、地域の皆様には、野球部の活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。今後とも、白山高校野球部をよろしくお願いたします。

《令和三年度 公式戦 戦績》

第七十三回秋季三重県大会 中勢地区予選

一次予選

二回戦 白山 12-2 津

三回戦 白山 6-5 久居農林

決勝 白山 2-7 津商

二次予選

三回戦 白山 12-1 高田

決勝 白山 10-2 久居

三回戦 白山 6-9 津田学園

一回戦 白山 4-3 朝明

二回戦 白山 4-0 桑名工

三回戦 白山 5-8 三重

陸上競技部より

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

陸上競技部は、一・二年生のみの若いチームですが、お互い声を出し合ってモチベーションを保ちながら頑張ってきたことができた。

その中で、四月から投てき競技を始めたばかりの選手が、秋の県大会でいきなり八位に入賞し、東海大会出場まであと少しというところまでくることができました。私が白山高校に赴任して七年目になります。競技を始めて数ヶ月で県大会に入賞するのは初めてのことで。寒くつらい冬期練習を乗り越えられれば、全国総体やU18日本選手権への出場、東海大会での入賞も達成できると思います。また、短距離・跳躍・投てき種目の一・二年生も自己記録を大きく更新しており、全体としても楽しみなチームになってきています。これらの結果は陸上競技部だけで

はなく、三年生の皆さんが作ってきた

てくれた学校の雰囲気、保護者の方や応援してくださった先生方・仲間との協力、指導も含め様々な面でサポートをしてくれたOBの存在があつてのことだと考えています。

「立てた目標は何のためにあるのか?」「この目標を達成すると誰がどんな風に喜んでくれるのか?」といった目的の部分にまで考えを広げ、プラスの言葉を出し、チーム全体が今まで以上に向上していけるよう頑張っていきたいと思います。

白山高校陸上競技部は、これからも応援し続けてもらえるようなチームを目指します。

三年生の皆さんも、白山高校で学んだこと・継続してきたことを自信にして、これからの人生も頑張ってください。

今年度の主な大会成績など

・三重県高等学校新人陸上競技大会

女子砲丸投8位

晴山由佳理(一年二組)

男子円盤投9位

伊藤 稜弥(二年三組)

・三重県陸上競技選手権大会

少年男子円盤投9位

奥川 翔也(二年三組)

☆自己新☆

・第3回名張市陸上競技大会

一般女子砲丸投 優勝

晴山 由佳理(一年二組)

・第三十一回鈴鹿カーニバル

一般女子砲丸投 2位

晴山由佳理(一年二組)

☆自己新☆

高校男子円盤投 5位

伊藤 稜弥(二年三組)

☆自己新☆

高校男子円盤投 6位

奥川 翔也(二年三組)

・第十六回松阪選手権大会

一般高校女子砲丸投 3位

晴山由佳理(一年二組)

卓球部より

日頃から温かい応援をいただき、ありがとうございます。卓球部は男子二名、女子一名の計三名で活動しています。緊急事態宣言に伴い、八月・九月は満足に練習ができず、また、多くの試合が中止になりました。参加できる試合が限られた中で、昨年の十二月に行われた三重県高校新人卓球大会地区予選会(学年別大会)に出場し、三名とも地区予選を突破することができました。現在は、三月にある県大会に向けて日々練習に

受けたようです。

九月は緊急事態宣言のため登校さえままならぬ事態に陥りましたが、その後は十一月開催の文化祭に目標を絞り、集中して練習に取り組みました。コンサートタイトルはズバリ「練習不足は否めない アンコールはご勘弁」。曲目は「ようこそジャパリパークへ」と「ジブリアニメメドレー」の二曲のみでしたが、部員五名に加えて顧問三名、それにドラムスに応援の教員まで加えた演奏は、人数以上のパワーを伝えられたと思っております。

精神的な支柱であった三年生一名が引退した現在は、どこか寂しい雰囲気も漂いますが、来年度もさらにたくさんのお新入生が吹奏楽部の門を叩いてくれることを期待しながら、今日も地道に練習を重ねています。

家庭部より

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの高校生活は一年生の終わり頃から新型コロナウイルスの影響で休校や行事の縮小等、今までにない高校生活でしたね。家庭部では、昨年同様、調理とい



弓道部より

ご卒業おめでとうございます。保護者の皆さまには弓道部の活動へのご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

今年度も、新型コロナウイルス感染症対策に留意しながらの活動となりました。昨年度は多くの大会が中止され、モチベーションの維持や本番経験の積み重ねが難しかったことを思えば、無観客であってもさまざまな大会に参加できたのは何よりのことでした。

その中でも、五月の県総体では男子団体が二位に入賞することができました。六月の東海総体は、地元開催ではありませんでしたが、試合経験のない会場で、公開練習も中止となるよ

吹奏楽部より

卒業する三年生も、一・二年生もこれらの経験をもとに、自己と向き合いながら目標を立て、達成するまで続けることを習慣にしていってほしいと思います。

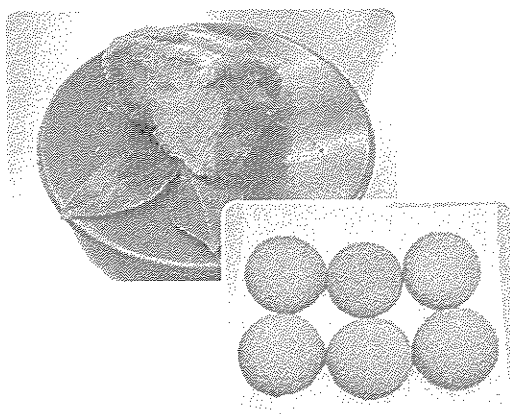
新型コロナウイルス感染症の影響を受け、昨年度に引き続き今年度も

満足な演奏活動が出来ず、またも消滅不良の年となってしまいました。春の中勢地区高等学校吹奏楽演奏会(フレンドシップコンサート)、夏

う活動は少なかったのですが、その中で、できる活動を色々行ってきました。フェルトでのマスケット作り、花ふきん作り、慣れない活動ですが、楽しみながら取り組みました。又、家城駅に、お花を植えに行ったりもしました。

文化祭では、今年も製菓販売ができず残念な思いもりましたが、自分たちで「ハロウィン」をテーマに南瓜やサツマイモを使ったお菓子と料理を作りレシピ紹介をしました。一所懸命考えて作ったお菓子や料理、失敗もあつたりしたけど最後にはとってもおいしいものができました。

一週間に一度の活動ですが、三年間で、調理の技術だけでなく、いろいろな場面で日々成長していく皆さん



んの姿をとでも頼もしく感じています。この先、就職、進学とみんなの進む道は様々ですが、新型コロナウイルスの影響を受けながらも、前向きに、その中でできることを考えて、しっかりと高校生活を送ったあなたたちは、この先つらいことがあっても、自分の力で乗り越えて行ってくれると信じています。

最後に、疲れたなど感じた時には、家庭部で作った甘いお菓子を思い出して、作って食べてください。

商業部より

三年生のみなさん、保護者の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今年度の商業部では、残念なことにもまだコロナの影響を受けて、地域の方達と一緒にいろいろな行事が開催されず、商業部の皆さんにとつて少しさみしい一年になってしまいました。

しかし、そんな中でも開催された、三重県立高等学校産業教育フェアにおいて、地域の和菓子屋さんの全勝堂さんにご協力頂き、販売実習を行うことが出来き、連日早い段階で完売することが出来ました。また、同時に開催した、子ども向けイベントも販売時間最後まで、産業教育フェア

アを盛り上げるために、少ない人数でも休み無く運営してくれました。その姿を見た様々な学校の先生や教育委員会の方たちからも「白山高校は、他の学校が完売して店じまいをしていく中で、最後まで頑張ってくれた。」と多くの賛辞を頂戴しました。

三年生の皆さんは一年生の時に様々なイベントに参加をして、地域の皆さんに喜んでもらえるような事を念頭にイベントを行っていたことが、その姿は、しっかりと後輩達に受け継がれていくことだと思います。

商売においても、人生においても、周りの人に喜んでもらえるように考え行動出来ることは、きっと皆さんの人生を豊かにしてくれることでしょう。卒業後の様々なステージで、白山高校で学んだ事を胸に頑張っていくて下さい。

茶道部より

茶道部では、昨年度から引き続き、感染症予防のため校外でのイベントが開催されず、校内でのお稽古のみ行っている状況です。

そのような中ですが、四名の部員は、お点前だけでなく片づけや掃除

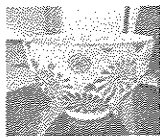
など、自主的に行動できるようになってきました。先輩の、後輩を思いやり適切に助言する様子や、後輩の、少しでも先輩に追いつこうと努力する姿を、目にすることも増えてきました。

文化祭では、呈茶のかわりに、日々の活動を紹介する動画を作成しました。動画のレイアウトから説明の言葉まで、アイデアを出し合って協力することができました。校外でのイベントがなく着る機会がなかった着物も、文化祭当日に着用することができ、立派に発表を終えることができました。

一日も早く、成長を続ける部員一人ひとりが地域のイベントで活躍できる日が来るのを、楽しみにしています。

1 クラブの紹介

現在 部員4名
毎週 火曜日放課後
例年 校外でも活動
君ヶ野ダム桜祭り
一志病院健康のつどい



など

生徒指導部より

「卒業にむけて」

三年生のみなさん、卒業おめでとうございます。みなさんは高校を卒業したとしてもまだまだ思春期の中、自分がどう見られているのか、悩んだり、信じたり、疑ったり。また家族とぶつかったり友達と喧嘩したり、誤解をしたり...

そんな時、つらいからといってそこから逃げることは簡単なことかもしれないけれど、逃げると余計に辛くなるものです。一番大切なことは、自分に正直でいること。そして、大切な人ときちんと向き合うことです。

卒業という言葉、卒とは「おわる」、「おえる」という意味で、業とは「なすべきこと」、「しごと」を意味します。つまり「業を卒(お)える」とこと。高校という場で、白山高校という場で、「なすべきこと」をなし、それをやり終えること、やり終えたことを指します。

この三年間、頭髪指導や遅刻指導等、「めんときさい」「うがい」と思っただ人も多かったと思います。しかし、来月からは今までは、また違う「ルール・マナー」があると思います。そういったことに対してプラスに考

え、応援される人間になってほしいと思つて、指導をしてきたつもりです。

保護者の方やお世話になった方たちへの感謝の気持ちと、これからの自分の人生への覚悟をもって、気を引き締めてこれからも生きていくて下さい。白山高校での「なすべきこと」を卒(お)え、そして次の「なすべきこと」に向き合ってください。

長い人生です。まずは健康第一で、頑張ります！また元気な姿を見せに来て下さい。

進路指導部より

ご卒業、おめでとうございます。今日まで保護者の皆様には、進路指導部の活動に対し、御理解と御協力をいただき、本当にありがとうございます。

今年も、コロナウイルスの影響を受けて、二学期には一か月の休校期間がありました。三年生の就職のスケジュールは例年通りに戻り、休校の中での就職試験となりました。就職においては、一部業界で求人数が戻らないままでしたが、製造業を中心に、概ね求人は回復し、三年生は、夏休み明け以降、しっかりとし

た取り組みが見られ、結果も順調に移りました。また進学においても、入学後の意欲と学習計画、将来の展望を明確に示すよう求められることが増えましたが、まだ一般入試に向けて奮闘中の生徒はいるものの、志望をかなえることができました。

今年度の三年生一〇一名のうちすでに決定した進路先は下記【表一】の通りです。例年と傾向は変わっていません。就職は、ほとんどの生徒が自宅から通勤できる事業所に内定し、進学は総合型選抜(旧「AO入試」)学校推薦型選抜(旧「指定校推薦」など)によるものがほとんどです。

ただ、進学では、新たな傾向の萌芽も見られます。一つは、これまでほとんど進学者がなかった看護専門学校への入学者が四名も出たことが特筆されます。本人たちの努力と担任の先生方の的確な指導、保護者のサポートなどが実を結びました。

二つ目は、近年、指定校推薦以外の四年制大学への進学も出てきていくことです。部活動での活躍を活かし、スポーツ方面へ進学することは以前からありましたが、音楽や美術方面でも専門学校ではなく大学に挑戦する生徒が出てきました。またセンター試験を受けたり、一般入試にも臨もうとしたりする生徒もおり

ます。

卒業式を迎えたこの時期は、ある意味で大事なスタート地点だと進路指導部では考えています。特に就職する人は、あらゆることが目新しく、慣れない人間関係(周りが同世代の人たちばかりではないこと)に戸惑うということもよく耳にします。家族や会社の上司などからの支援を得ながら社会人として自分の人生を切り拓いていくてくれることを心から願っています。また、進学する人も自分で選んだ道を追求していつてくれることを願ってやみません。

それでも悩んだり苦しんだりしたときは、辞める前に誰かに相談してほしいと思います。進学先や就職先にも見てくれている人は必ずいます。進路指導部も同様です。保護者のみ



【表1】3年生の進路先

<大 学>	○名古屋経済大学	○大阪商業大学	○鈴鹿医療科学大学	○愛知産業大学
	○九州産業大学	○大阪人間科学大学		
<短期大学>	○三重短期大学	○高田短期大学	○ユマニテク短期大学	○池坊短期大学
<専門学校等>	○ユマニテク医療福祉大学校	○ユマニテク看護助産専門学校	○伊勢理容美容専門学校	
	○松阪看護専門学校	○総合学園ヒューマンアカデミー	○伊勢保健衛生専門学校	
	○名古屋未来工科専門学校	○名古屋平成看護医療専門学校	○名古屋情報メディア専門学校	
	○日本プロスポーツ専門学校	○ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校	○京都建築専門学校	
	○津高等技術学校	○大阪ECO動物海洋専門学校		
<就 職>	○本田技研工業株式会社 鈴鹿製作所	○井村屋株式会社	○株式会社CHAMPION CORPORATION	
	○株式会社中尾製作所	○ニプロファーマ株式会社 伊勢工場	○マリンフーズ株式会社 三重工場	
	○株式会社ライジング 明和工場	○株式会社中勢ゴム	○トヨタ車体株式会社	
	○丸豊技研株式会社 三重工場	○株式会社大興	○株式会社イクセディ 上野事業所	
	○SWS西日本株式会社	○株式会社シーズプランニング	○ダイキョーニシカワ株式会社	
	○株式会社住ケン三重	○株式会社くろがね工作所 津工場	○株式会社プリオカフェカンパニー	
	○倉敷紡績株式会社 三重工場	○株式会社ホンダカーズ三重	○株式会社ヒサダ	
	○EternityBase株式会社	○辻製油株式会社	○株式会社テクノスジャパン	
	○三重中西金属株式会社	○株式会社一志ゴルフ倶楽部	○新生電子株式会社	
	○社会福祉法人松阪市社会福祉協議会	○愛知機械工業株式会社	○株式会社ウッドベル	
	○山川モールディング株式会社	○社会福祉法人弘仁会特別養護老人ホーム美里ヒルズ		
	○ジャパンマリンユナイテッド株式会社 津事業所	○株式会社ホンダオート三重		
	○田中紙管株式会社 三重工場	○アートコーポレーション株式会社	○住友理工株式会社	
	○有限会社はっとり美容室	○ダイソウ工業株式会社	○株式会社マルハン	
	○山九株式会社 三重支店	○株式会社 スタック	○東洋エアソール工業株式会社 三重工場	
	○みえなか農業協同組合	○株式会社タカキタ	○松阪興産株式会社	
	○AGCガラスプロダクツ株式会社久居工場	○三鬼建築	○オプト電工株式会社	
	○株式会社三重イエローハット	○旭鍍金株式会社		

なごまも、本人が何か苦しんでいる様子がありましたら「白山高校へ行って相談してみれば」と勧めてやってください。

卒業生のみなさんが、自分の能力を十分に発揮するとともに、在校生やその先の後輩たちのための力になってくれることも期待しています。これからの活躍を祈ります。

保健部より

日頃より、お子様の体調管理、および感染症対策につきましてご協力をいただき、心から感謝いたしております。

今年度保健部では、感染症対策に気を配りながら、保健講話を実施しております。

六月には本校スクールカウンセラー 田中二美先生による講話、七月には三年に一度実施しております献血セミナーを行いました。また同じく七月には、講師に助産師の林みち子先生をお招きし、性に関する講話をしていただきました。また十二月には、再度スクールカウンセラーの先生より、「二学年対象に、グループワークを含めた講話を行っていただきました。」

三年生にとっては、いずれも高校生活最後の機会となります。卒業してから、「あのとき、こんな話を聞いたな。」とふと思い出し、自分を大切に感じながら過ごしてもらえれば嬉しいですね。

一、二年生にとっても、一人ひとりが自分らしく、高校生活を充実させることができるような内容を、今後もお伝えしていければと思っております。

今後とも、白山高校保健部の活動に、ご理解、ご協力よろしくお願いたします。

